

カタロにて



カタロにて

韓国語講座

日時： 10月 4日(月) 10月 25日(月)
10:00~11:30
会費： 3,500円

講師 邊 美仙
韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業。

お問合せ・お申込み

篠崎 080-5543-7489

お問合せ・お申込み:

片岡 090-7267-4498
HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

カタロ通信

VOI.152

2010年 10月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

(株)北澤工務店

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7
TEL: 0297-60-1333
FAX: 0297-60-1311
e-mail: info@e-kitazawa.com

カタロ

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL: 0297-60-1666
閉館日: 水曜日
e-mail: kataro@e-kitazawa.com

甘味café 空~くう~

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL: 0297-63-0730
定休日: 水曜日
e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号

ワンダーシェフ
甘味café~くう~
一日オーナーになってみませんか!

ケーキ・和菓子・飲物・ランチ etc...
カフェを貸しきって、ホームパーティのようにたくさんのお客様に腕をふるってみては!?
もちろん私たちスタッフもお手伝いさせていただきます。

空~くう~では、『手づくり作品』をお預かりして販売しております。
可愛くて、ステキなものが多いので大好評です!ご来店の際は、是非ご覧下さいね。またオーナーさんも募集しております。1ヶ月間お預かりして展示販売をしております。ご自身の作品、お友達やお知り合いの作品等ございましたら是非どうぞ!!

連絡先 0297-60-1666(カタロ)



9月吉日、河内町K様邸の『地鎮祭』が執り行なわれました。

com ドットコム

panasonic
テレビドアホン(インターホン)

VL-SV20x

すっきり薄型、スリムデザイン。

20,000円
(工事費込・税込)

北澤工務店が、数ある商品の中から選りすぐったものを、どこよりも安い.com 価格でご提供させていただきます。

※新規設置は、電源の取り出し等の工事が発生する場合は別途お見積り致します。
※お気軽にお電話下さい!

(株)北澤工務店 0297-60-1333

...北澤工務店&甘味Cafe空~くう~から...

10月 空のミニショップは...

『かざみどり』 帽子・布の草履・和小物
『フェリシス ビータ サーカス』 ブローチ・におい袋・竹の笛・石けん

「第10回 市の日」開催致します!

日時: 11月28日(日) 10:00~16:00

場所: カタロ 1.2階 駐車場にて

今年は21のショップオーナーさんが参加していただけます。

詳しくは裏面をご覧ください!!

やっと涼しくなりました。

ほんと、『やっと』って感じですね。暑い、ものすごく暑い夏でした。これも地球温暖化による影響なのでしょう。その後も異常気象的な現象が多発していますが、いかがお過ごしですか。



《リンカーンの金言》

ぼくはいま43歳。もう人生の半分を過ぎてしまった。大先輩の皆様から見ればまだまだ若造かもしれないけれど、自分の実感としては『もう43歳』。焦りさえ感じるのです。

山梨県にあるに日本航空高校出身の私。24期生です。その2年生16歳の時の担任の先生が上田幸子先生。男ばかりの全寮制の学校内にあって、ちょっとだけ？まぶしい存在でした。その幸子先生がこんなことを言っていたのをありありと覚えているんです。

『40歳になったら人は自分の顔に責任を持たねばならない』

かのリンカーンの金言といわれる言葉なのだそうです。当時はそれほどピンとこなかった、というか『なに言ってんだかあ！』みたいに皆でバカにしていた。

その後高校を卒業して浪人やって、大学生になってプー太郎して、親父のあとを継いで結婚して、3人の子供と家族を営んで……、いま43歳。

最近よく自分の顔を見るんですよ。手のシワとかも。アタマのてっぺんが薄くなってきたりしているのも気になったり……。ああ～、16歳のあの時からしたら、ちゃんと43歳になった自分がある。あれから27年 9,855日 236,520時間の体験を経た『おさむ』がいる。

そんな中、『自分の顔に責任を持つ』って、おれ、できてるかなあ。



《ぼやぼやしてられない》

焦っても仕方ないかもしれないんですが、ほんと自分の年齢に危機感さえ感じるんです。だって、すでに主流となっているテレビの中の登場人物は全くと言っていいほどわからないし、ぼくの知っている音楽やアイドルは『懐メロ』になってしまったし、自分の子供が『あの時』と同じ高校2年生の16歳。ぼくの親父はなんと75歳、…。焦らずにはられない！！

で、ぼくは、何を焦っているのか？自分の内側を巡ってみる……。

27年前に聞いた上田幸子先生の言葉が今さら浮かんでくるのは、きっとそこにヒントがあるからだと思う。おれは43歳。ちゃんとその顔に責任が持てるような人物になっているのか、そんな人生を歩んでいるか、そこに一抹の不安があるんだな。この感覚を日々忘れずに生きよう。あらゆる体験を、この感覚に照らし合わせて生きよう。



《不自由さの中にこそ》

前段が長くなってしまいました。

家づくり、という仕事を通してお客様と接していると、実にいろんな学びがあります。例えば『不自由さや不便さ不快さの中にこそ、幸せや豊かさがある』ということ。

アパート暮らしの中、子供たちが成長しておっしくなったからお家を建てよう、ということになる。その時は部屋が狭いからみんなと一緒に寝なくちゃいけない。足がぶつかったりふとんの取り合いになったり……。テレビも一台しか置けないからケンカになる。トイレも一ヶ所しかないから『早く出てえ～！！』ってことになる。近所に声が

響くから『静かに！！』って叱る。収納もないから足の踏み場もなくって……。

でもこれって、『三丁目の夕日』ですね。そういう中でこそ、『家族の絆』が育まれる。気づかう心、思いやりが育まれると思う。

まあ、一概には言えませんね。現代はあまりに忙し過ぎますからね。ストレス社会ですからね。足がぶつかって布団とられて睡眠不足になったら、家庭内暴力が横行してしまいそうな勢いの世相ですから。あまりにもここにゆとりがなさ過ぎますよね。



《北澤家の場合》

先月のセフィーロのエピソードと同じ論法になるかもしれませんが、我が家の場合をご紹介します。

我が家にはテレビが1台しかありません。19インチのブラウン管テレビ。当時流行った『テレビデオ』です。相当な年数が経ったために、テレビ本体の操作パネルのふたがなくなり、リモコンの文字は消え、スイッチボタンも外れています。

ここ数年、映りが悪くなっているようです。録画したつもりでも録画されていなかったりします。テープの取り出しボタンを押すと電源が切れたり、早送りを押すとボリュームが上がったりするようで……異常動作するんだそうです。

友達の家では最新のでっかい液晶テレビがあるそうで、ブルーレイでデジタル録画だそうです。『早く地デジ対応しようよ！！でっかいテレビ買おうよ』とせがみます。『うちはなんでこんなにびんぼうなの！？』なんてうそぶいたりもします。

ぼくの言い分はこうです。『おとうさんはなあ、「買えない」んじゃなくて「買わない」んだ。全然意味が違う。だって来年の7月11日の世紀の地デジ変換の瞬間を見たくないか。どんなふうにアナログテレビが終わるのか、見たいじゃん。ジャあ～とかいって砂の嵐になるのか、ピーーとかいって真っ暗になるのか、みたいじゃん。だいいちこのテレビ、ガシャンってなっちゃうの、かわいそうじゃん……。』ってな感じです。

このテレビを粗末にして壊したらもうテレビは買わない、とも言っています。ちょっと極端かもしれませんが、そうすれば今度我が家にお嫁入りしてくる地デジや液晶テレビがどれほど有り難いことか。その時にはきっと感動があると思うんです。たぶんカントンに手に入れてしまっては、感動がない。当たり前にしてしまうのはもったいない。

そして子供たちがやがて成人して大人になったとき、『あの時のうちはこうだったよなあ……。』とか言って笑い話の一つにしてくれたら、ぼくはうれしいなあ。。。

《目に見えない大切なこと》

現代は物質的にはとっても豊かな時代です。いくらでも手前に引き寄せて手に入れることができる。家電量販店に行ったら、こんなに便利！こんなに快適！に暮らすことができるアイテムが、これでもか！というほど陳列されている。目がクラクラするほど！！！！

でも、『だからこそ！』ちょっとした貧しさや不自由さ不快さは、意図的に体験しなければ、体験できないと思うんです。そしてその中にこそ、大切なものがあるとぼくは信じているんです。いかがなものでしょうか……。

